

- 問1 大正時代、第一次世界大戦後の民主主義的な国際情勢の影響を受け、日本国内で高まった政治・社会・文化の変革を求める運動の思想的支柱となった人物と、その主張の組み合わせとして適切なものはどれですか。(2023年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 1. 犬養毅が、護憲運動において藩閥政治の打破を訴えた。 | 2. 板垣退助が、国会開設を求めて自由民権運動を指導した。 | 3. 吉野作造が、民衆の利益を第一とする民本主義を唱えた。 | 4. 福沢諭吉が、学問のすすめを著して個人の独立を説いた。 |
|------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
- 問2 1910年代後半から始まった原敬内閣の政治的背景とその内容について述べた文として、最も適切なものはどれですか。(2021年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 衆議院の第一党である立憲政友会の総裁が首相となり、主要な閣僚をその党員で構成した。 | 2. 内閣総理大臣が議会を無視して政策を決定する、超然内閣の仕組みをさらに強化した。 | 3. 日露戦争の軍費調達を目的として、国民に増税を強いるために藩閥勢力が組織した。 | 4. 自由党の党首を中心として、日本で最初の政党内閣である通称「隈板内閣」を組織した。 |
|--|--|---|---|
- 問3 第一次世界大戦後の国際情勢において、ベルサイユ条約の締結と同時に、アメリカのウィルソン大統領が提唱した「民族自決」の原則や、世界平和の維持を目的として創設された組織は何ですか。(2025年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------------|---------|---------|
| 1. 欧州連合 | 2. 北大西洋条約機構 | 3. 国際連盟 | 4. 国際連合 |
|---------|-------------|---------|---------|
- 問4 「外交官」という職業に関心を持つ生徒が、日本の外交史における重要な出来事を時代順に整理した。16世紀から20世紀にかけての出来事として、時期の古いものから順に正しく並んでいるものはどれか。(2024年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 徳川家康による朱印船貿易の展開 → 九州のキリシタン大名による天正遣欧少年使節の派遣 → 新渡戸稲造の国際連盟事務次長への就任 → 伊藤博文によるヨーロッパでの憲法調査 | 2. 九州のキリシタン大名による天正遣欧少年使節の派遣 → 伊藤博文によるヨーロッパでの憲法調査 → 徳川家康による朱印船貿易の展開 → 新渡戸稲造の国際連盟事務次長への就任 | 3. 九州のキリシタン大名による天正遣欧少年使節の派遣 → 幕府が渡航許可証を与えた朱印船貿易の展開 → 伊藤博文によるヨーロッパでの憲法調査 → 新渡戸稲造の国際連盟事務次長への就任 | 4. 徳川家康による朱印船貿易の展開 → 九州のキリシタン大名による天正遣欧少年使節の派遣 → 伊藤博文によるヨーロッパでの憲法調査 → 新渡戸稲造の国際連盟事務次長への就任 |
|---|---|--|---|
- 問5 第一次世界大戦後のイギリス領インドにおいて、ガンディーが指導した独立運動の思想や行動指針として正しいものを説明した文を選んでください。(2014年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------|---------------------------------|--|--------------------------------|
| 1. 暴力を用いてイギリス政府の建物を破壊する武装闘争 | 2. 共産主義を導入し、ソビエト連邦の軍事支援を受ける軍事行動 | 3. 非暴力・不服従を掲げ、イギリス製品のボイコットなどを通じて抵抗する運動 | 4. イギリスの支配を認め、自治権の拡大のみを求める対話路線 |
|-----------------------------|---------------------------------|--|--------------------------------|
- 問6 1918年に発生した米騒動に関する記述として、その影響や当時の状況を正しく説明しているものはどれですか。(2016年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 田中正造が天皇に直訴したことをきっかけに、全国の農村で大規模な反対運動が展開された。 | 2. 全国規模の暴動に発展したため、第4回全国中等学校優勝野球大会が中止に追い込まれた。 | 3. この騒動を受けて政府は治安維持法を制定し、社会主義者への弾圧を強めた。 | 4. 日露戦争の講和条約の内容に不満を持つ人々が、日比谷焼き打ち事件を引き起こした。 |
|---|--|--|--|
- 問7 平塚らいてうが雑誌『青踏』で発表した宣言において、女性を本来の「太陽」ではなく、他人の光で輝く「月」のような存在であると例えた背景にある、彼女の主張として最も適切なものはどれですか。(2026年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 女性が男性に従属し、自分自身の意志や能力を発揮できていない現状を批判し、自立を求めた。 | 2. 女性も兵士として戦場に赴き、国家のために尽くすことが太陽のように輝く道であると主張した。 | 3. 女性は家庭を守る存在として、月のように家族を優しく照らす役割に専念すべきだと説いた。 | 4. 欧米の進んだ文化を模倣することで、日本女性の外見を華やかに変える必要があると訴えた。 |
|--|---|---|---|
- 問8 1910年代の日本の貿易統計を見ると、1914年以降、輸出額が輸入額を大きく上回り、輸出額を示す数値が急激に上昇している期間があります。このような経済状況を何と呼びますか。(2018年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| 1. 岩戸景気 | 2. バブル経済 | 3. 大戦景気 | 4. 昭和恐慌 |
|---------|----------|---------|---------|
- 問9 第一次世界大戦中の日本において、輸出額が輸入額を大幅に上回り「大戦景気」と呼ばれる好況がもたらされた主な背景として、最も適切な説明はどれですか。(2023年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 日本がヨーロッパ諸国から大量の食料や資源を安く輸入し、それを国内で加工して再輸出した。 | 2. 日本の農業生産が飛躍的に向上し、米や麦などの食料品の輸出がアジア市場を独占した。 | 3. ヨーロッパ諸国が戦争に集中したため、アジア市場向けの工業製品の供給が不足し、日本製品の需要が高まった。 | 4. 世界的な不況により原材料の国際価格が下落したため、日本の輸入額が極端に減少した。 |
|--|---|--|---|
- 問10 第一次世界大戦後の国際情勢において、ワシントン会議などで海軍軍備の縮小が進められた主な背景として、当時の経済状況を踏まえた説明として適切なものはどれですか。(2015年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 造船業界が好景気に沸いていたため、さらなる利益を求めて新しい軍艦への買い替えを促進する必要があったため | 2. 植民地支配を拡大するために、海軍力よりも航空機による攻撃力を重視する方針に全世界が転換したため | 3. 陸軍を強化するための予算を確保するために、一時的に海軍の規模を縮小してバランスを取る必要があったため | 4. 世界的な不景気の中で軍事費が国家財政を圧迫しており、経済立て直しのために軍事支出を抑える必要があったため |
|--|--|---|---|
- 問11 明治時代後期から大正時代にかけての日本の対外関係について、古いものから順に並べたものとして正しいものはどれですか。(2016年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. ポーツマス条約の締結と日比谷焼打ち事件 → 韓国併合 → ベルサイユ条約の締結 → 中国への二十一か条の要求 | 2. ポーツマス条約の締結と日比谷焼打ち事件 → 中国への二十一か条の要求 → 韓国併合 → ベルサイユ条約の締結 | 3. ポーツマス条約の締結と日比谷焼打ち事件 → 韓国併合 → 中国への二十一か条の要求 → ベルサイユ条約の締結 | 4. 韓国併合 → ポーツマス条約の締結と日比谷焼打ち事件 → 中国への二十一か条の要求 → ベルサイユ条約の締結 |
|---|---|---|---|
- 問12 平塚らいてうが執筆した『青鞥』創刊号の宣言文において、「元始、女性は実に太陽であった。真正の人であった。」という言葉に込められた、当時の社会に対する考え方として最も適切なものはどれですか。(2022年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 日清・日露戦争後の労働力不足を解消するため、女性も男性と同じように工場で働くべきだという主張 | 2. 女性も武士のような精神を持ち、有事の際には国家のために武器を持って戦うべきだという主張 | 3. 家制度や古い慣習に縛られている現状に対し、女性が本来持っていた輝きや主体性を取り戻すべきだという主張 | 4. 天皇を中心とする国家体制を支えるために、女性は家庭内での教育に専念すべきだという主張 |
|---|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 吉野作造が、民衆の利益を第一とする民本主義を唱えた。	吉野作造は、大日本帝国憲法のもとで民主主義的な政治を実現するため、主権の所在を問わず政治の目的を民衆の幸福に置く「民本主義」を提唱しました。これが大正デモクラシーの理論的な支柱となり、普通選挙の実現や政党内閣の確立を求める運動を強く後押しすることになりました。
問2	答え 1 衆議院の第一党である立憲政友会の総裁が首相となり、主要な閣僚をその党員で構成した。	原敬は衆議院で第一党の議席を持つ立憲政友会を基盤として内閣を組織しました。それまでの藩閥政治から、議会の多数派を基盤とする政党政治への移行を示す出来事であり、陸・海・外相以外を党員で固めた点が「本格的」とされる理由です。
問3	答え 3 国際連盟	ベルサイユ条約には国際連盟の規約が含まれており、史上初の本格的な国際平和維持組織として国際連盟が発足しました。ウィルソン大統領が提唱した「民族自決」の考え方は、主にヨーロッパにおける帝国崩壊後の新独立国誕生を後押ししましたが、敗戦国や植民地支配を受けていた地域には十分に適用されないといった限界もありました。
問4	答え 3 九州のキリシタン大名による天正遣欧少年使節の派遣 → 幕府が渡航許可証を与えた朱印船貿易の展開 → 伊藤博文によるヨーロッパでの憲法調査 → 新渡戸稲造の国際連盟事務次長への就任	16世紀末の安土桃山時代、九州のキリシタン大名によってローマへ天正遣欧少年使節が派遣されたのが最も古い出来事である。その後、17世紀初めの江戸時代初期に、徳川家康が大名や商人に朱印状を与えて東南アジア諸国と貿易を行う朱印船貿易が盛んになった。明治時代の19世紀後半には、伊藤博文が近代的な憲法制定を目指してヨーロッパ（主にドイツ）の憲法を調査した。そして20世紀に入り、第一次世界大戦後に設立された国際連盟において、新渡戸稲造が事務次長として国際社会の平和に貢献したという流れになる。
問5	答え 3 非暴力・不服従を掲げ、イギリス製品のボイコットなどを通じて抵抗する運動	第一次世界大戦中に協力すれば自治を認めると約束していたイギリスが、戦後にその約束を反故にしたため、ガンディーは「非暴力・不服従」を唱えて抵抗運動を組織しました。これは、暴力を使わずに、イギリス製の綿製品を買わない、税金を払わない、従わないといった方法でインドの独立を求めるものでした。
問6	答え 2 全国規模の暴動に発展したため、第4回全国中等学校優勝野球大会が中止に追い込まれた。	富山県から始まった米騒動は、わずか数ヶ月の間に1都3道32県という全国規模の暴動へと発展しました。この混乱により、現在の全国高等学校野球選手権大会の前身である「全国中等学校優勝野球大会」が中止されるなど、社会全体に大きな影響を与えました。なお、足尾銅山鉱毒事件（田中正造）や日比谷焼き打ち事件は米騒動とは別の時期・原因による出来事です。
問7	答え 1 女性が男性に従属し、自分自身の意志や能力を発揮できていない現状を批判し、自立を求めた。	「月」という比喻は、自ら光を放たず太陽の光を反射するだけの存在、つまり当時の社会制度の中で男性や家に従属し、自分の意志を持っていない女性の境遇を批判的に表現したものです。彼女は女性が本来持っていたはずの、自ら輝く「太陽」のような生命力と人間性を取り戻すべきだと主張しました。
問8	答え 3 大戦景気	第一次世界大戦による特需を受け、それまで債務国（借金がある国）だった日本は、短期間で債権国（貸し付けがある国）へと変わるほどの好景気を経験しました。この時期、造船業や製糸業などの軽工業・重工業ともに大きく発展し、成金と呼ばれる急増した富裕層も現れました。
問9	答え 3 ヨーロッパ諸国が戦争に集中したため、アジア市場向けの工業製品の供給が不足し、日本製品の需要が高まった。	当時の主要な工業国であったイギリスやドイツなどのヨーロッパ諸国が戦争に巻き込まれたことで、それまでこれらの国々が供給していたアジア市場への工業製品が不足しました。これに代わって日本の繊維製品や雑貨などの輸出が拡大し、さらに軍需品の注文も重なったことが、輸出額が輸入額を圧倒する背景となりました。これにより、重化学工業の発展も促進されました。
問10	答え 4 世界的な不景気の中で軍事費が国家財政を圧迫しており、経済立て直しのために軍事支出を抑える必要があったため	第一次世界大戦後、日本を含む各国は戦後恐慌などの不景気に直面していました。莫大な費用がかかる主力艦の建造競争は財政を極度に悪化させる要因となっていたため、各国は協調して軍備を縮小し、財政負担を軽減させることで国内経済の安定を図ろうとしました。このように、平和への動きは経済的要請とも深く結びついていました。
問11	答え 3 ポーツマス条約の締結と日比谷焼打ち事件 → 韓国併合 → 中国への二十一か条の要求 → ベルサイユ条約の締結	日露戦争の講和条約であるポーツマス条約の締結（1905年）に際し、賠償金が得られなかったことへの不満から日比谷焼打ち事件が発生しました。その後、1910年に韓国併合が行われて朝鮮総督府が設置されました。第一次世界大戦中の1915年には、日本が中国での権益拡大を狙って二十一か条の要求を出し、大戦後の1919年にパリ講和会議を経てベルサイユ条約が締結されました。
問12	答え 3 家制度や古い慣習に縛られている現状に対し、女性が本来持っていた輝きや主体性を取り戻すべきだという主張	この宣言文は、当時の家父長制的な社会の中で「月」のように他者（男性や家族）に従属する存在となっていた女性に対し、本来は自ら光り輝く「太陽」のような自由な存在であったはずだと説き、自己覚醒を促したものです。文学活動から始まったこの動きは、やがて参政権獲得などの政治的な運動へとつながっていきました。